

**製品名:** p53(リン酸化Ser366)ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab05829

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	53kDa

## 抗原情報

遺伝子名	TP53 P53
別名	Cellular tumor antigen p53 (Antigen NY-CO-13) (Phosphoprotein p53) (Tumor suppressor p53)
遺伝子 ID	7157.0
SwissProt ID	P04637
免疫原	ヒト p53 のリン酸化部位 (Phospho-Ser366) 周辺の合成リン酸化ペプチド

## 背景

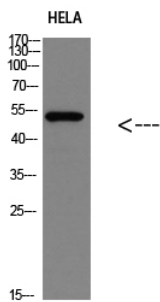
核タンパク質である腫瘍タンパク質 p53 は、細胞周期の制御、特に G0 期から G1 期への移行において重要な役割を果たします。正常

細胞では非常に低濃度で存在しますが、様々な形質転換細胞株では高発現しており、形質転換および悪性化に寄与すると考えられています。p53はDNA結合タンパク質であり、DNA結合、オリゴマー形成、および転写活性化ドメインを有します。

## 研究分野

MAPK\_ERK\_Growth;MAPK\_G\_Protein;Cell\_Cycle\_G1S;Cell\_Cycle\_G2M\_DNA;p53;アポトーシス抑制;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;WNT;WNT-T細胞神経栄養因子;筋萎縮性側索硬化症(ALS);ハンチントン病;がんの経路;結腸直腸がん;膵臓がん;子宮内膜がん;神経膠腫;前立腺がん;甲状腺がん;基底細胞がん;黒色腫;膀胱がん;慢性骨髄性白血病;小細胞肺がん;非小細胞肺がん;

## 画像データ



HELA細胞ライセートのウェスタンブロット分析。抗体は1:1000に希釈。二次抗体は1:20000に希釈。